

夏 期 臨 海 実 習 報 告

期 日 昭和39年8月24～26日
会 場 津名郡淡路町岩屋、神戸大学附属臨海実験所
講 師 神戸大学 教授 農博 広瀬広幸先生
県立兵庫高校教諭 農博 室井 綽先生

参加会員 39名

経 過 7月に案内を配布したところ、募集人員40に対し48名の申し込みがあり盛会を期待していたが、当日になり台風襲来、連絡船欠航などで、取り消しや不参加者もでて、集まった人は30人。そんなわけで2班に分ける計画を変更、全員行動を共にすることとして開講の運びとなる。以下日程にしたがい簡単に述べる。

8/24 13～16 海洋生物採集、海は思ったほど荒れなかった。打ち上げの海藻を流れ寄る海藻をと皆血眼になって採集する。広瀬先生から、近似種の区別点などの確に教えられて一同大いに自信をつける。

16～19 標本整理、入浴、夕食（以後食事はすべて、灘生協の淡路生協荘にて）

19.30～20.30 講演

20.50 今後の打合せなどして就寝。

8/25 4～6 プラクトン採集、女子会員が引受けていたが、波荒く乗船不能、榎本先生が単独採集を敢行してくださった（本日の参加者9名）。

9～12 実験観察、広瀬先生から藻類の生殖について専門的なお話を承わる。おぼろにかすんだような知識に一つ一つスポットライトを当てられたように明るくなったことはうれしい。講演後それらの生殖状況やプラクトンの検鏡、標本の整理など、思い思いの行動ながら皆真摯な研究に没頭する。

13～17 陸上植物採集、実習所南方より山に入る、その間、海岸植物、一般植物、池沼植物など多岐に亘る採集ができた。室井先生の深いご研究による現地講演は、生徒児童の指導要点、植物鑑別のきめ手など懇切な指導をいただく。

19.30～21 茶話会 講師先生を囲み、会員相互の親密を深めたいと、一席をもうける。それぞれ専門的に苦勞されている体験談など、次々と出て楽しい会であった。

8/26 8～13 陸上植物採集 昨日と方面をかえて山に入る。室井先生の興味深く、ユーモアに富んだお話に、感心したり笑ったり、それでいて大切な事柄が頭に残る。（そんな事きまるとお叱りを受けるかも知れないけれど、あんな指導法を私共も身につけたい）。興のおもむくまま思わず時を過ごし、予定より1時間おくれて帰寮。

13.30 お礼やお互の挨拶、そしてあと始末をして解散。

付 記

私どもの杜撰な計画、連絡の不十分など数々の手違いで実習所では随分戸惑われたことと思うけれども、その不行届きを全面的にお許しください、何かと気を配って至れり尽くせりのお世話になり、予期以上の成果を挙げる事ができた。これ偏に所長広瀬博士のご理解、主任の榎本先生の献身的なご援助の賜物であり、所員一宮氏の蔭からのお力添えも大きい力となったと思います。

ここに講師両先生に厚くお礼を述べますとともに、実習所の皆様に心からなる感謝の意を表します。

（古川記）